

中3数学D 宿題解答 1学期-6

宿題 6-1

$$(1) \cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$$

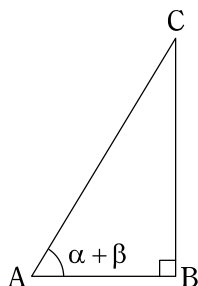
$$= \frac{4}{5} \times \frac{12}{13} - \frac{3}{5} \times \frac{5}{13} = \frac{33}{65}$$

$$\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$$

$$= \frac{3}{5} \times \frac{12}{13} + \frac{4}{5} \times \frac{5}{13} = \frac{56}{65}$$

$$(2) BC : CA : AB = \sin(\alpha + \beta) : 1 : \cos(\alpha + \beta)$$

$$= \frac{56}{65} : 1 : \frac{33}{65} = \boxed{56 : 65 : 33}$$



$$(3) \cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos(-\beta) - \sin \alpha \sin(-\beta)$$

$$= \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$$

$$= \frac{4}{5} \times \frac{12}{13} + \frac{3}{5} \times \frac{5}{13} = \frac{63}{65}$$

$$\sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos(-\beta) + \cos \alpha \sin(-\beta)$$

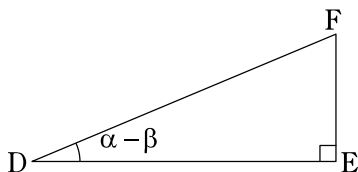
$$= \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$$

$$= \frac{3}{5} \times \frac{12}{13} - \frac{4}{5} \times \frac{5}{13} = \frac{16}{65}$$

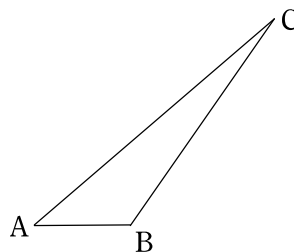
であるから,

$$EF : FD : DE = \sin(\alpha - \beta) : 1 : \cos(\alpha - \beta)$$

$$= \frac{16}{65} : 1 : \frac{63}{65} = \boxed{16 : 65 : 63}$$



宿題 6-2



$$(1) (\sin A)^2 = 1 - (\cos A)^2 = 1 - \left(\frac{3}{4}\right)^2 = \frac{7}{16}$$

$$\sin A > 0 \text{ なので, } \sin A = \frac{\sqrt{7}}{4}$$

$$(\sin B)^2 = 1 - (\cos B)^2 = 1 - \left(-\frac{9}{16}\right)^2 = \frac{25 \times 7}{16^2}$$

$$\sin B > 0 \text{ なので, } \sin B = \frac{5\sqrt{7}}{16}$$

$$(2) \text{ 三角形 ABC の内角の和より,}$$

$$C = 180^\circ - (A + B)$$

なので,

$$\sin C = \sin(180^\circ - (A + B))$$

$$= \sin(A + B)$$

$$= \sin A \cos B + \cos A \sin B$$

$$= \frac{\sqrt{7}}{4} \times \left(-\frac{9}{16}\right) + \frac{3}{4} \times \frac{5\sqrt{7}}{16} = \frac{3\sqrt{7}}{32}$$

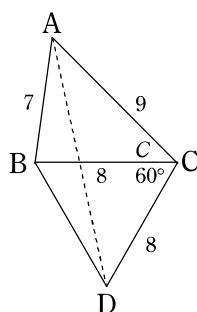
$$(3) \text{ 三角形 ABC において, 正弦定理より,}$$

$$BC : CA : AB = \sin A : \sin B : \sin C$$

$$= \frac{\sqrt{7}}{4} : \frac{5\sqrt{7}}{16} : \frac{3\sqrt{7}}{32}$$

$$= \boxed{8 : 10 : 3}$$

宿題 6-3



- (1) 三角形 ABC において、余弦定理より、

$$\cos C = \frac{8^2 + 9^2 - 7^2}{2 \times 8 \times 9} = \frac{96}{2 \times 8 \times 9} = \boxed{\frac{2}{3}}$$

$(\cos C)^2 + (\sin C)^2 = 1$ なので、

$$(\sin C)^2 = 1 - \left(\frac{2}{3}\right)^2 = \frac{5}{9}$$

$$\therefore \sin C = \boxed{\frac{\sqrt{5}}{3}} (> 0)$$

- (2) 三角形 ACD において、余弦定理より、

$$AD^2 = 8^2 + 9^2 - 2 \times 8 \times 9 \times \cos \angle ACD$$

ここで、加法定理より、

$$\cos \angle ACD$$

$$= \cos(C + 60^\circ)$$

$$= \cos C \cos 60^\circ - \sin C \sin 60^\circ$$

$$= \frac{2}{3} \times \frac{1}{2} - \frac{\sqrt{5}}{3} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = \frac{2 - \sqrt{15}}{6}$$

であるから、

$$AD^2 = 8^2 + 9^2 - 2 \times 8 \times 9 \times \frac{2 - \sqrt{15}}{6}$$

$$= 64 + 81 - 24(2 - \sqrt{15})$$

$$= 97 + 24\sqrt{15}$$

$$\text{よって、} AD = \boxed{\sqrt{97 + 24\sqrt{15}}} (> 0)$$

※ この二重根号は外れません。

宿題 6-4

- (1) それぞれの確率は以下のようにして計算できる。

$$X = 1 : \frac{2}{7}$$

$$X = 2 : \frac{5}{7} \times \frac{2}{6} = \frac{5}{21}$$

$$X = 3 : \frac{5}{7} \times \frac{4}{6} \times \frac{2}{5} = \frac{4}{21}$$

$$X = 4 : \frac{5}{7} \times \frac{4}{6} \times \frac{3}{5} \times \frac{2}{4} = \frac{1}{7}$$

$$X = 5 : \frac{5}{7} \times \frac{4}{6} \times \frac{3}{5} \times \frac{2}{4} \times \frac{2}{3} = \frac{2}{21}$$

$$X = 6 : \frac{5}{7} \times \frac{4}{6} \times \frac{3}{5} \times \frac{2}{4} \times \frac{1}{3} \times \frac{2}{2} = \frac{1}{21}$$

よって、以下の表を得る。

X	1	2	3	4	5	6	計
確率	$\frac{2}{7}$	$\frac{5}{21}$	$\frac{4}{21}$	$\frac{1}{7}$	$\frac{2}{21}$	$\frac{1}{21}$	1

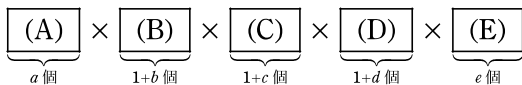
- (2) X の期待値は、

$$1 \times \frac{2}{7} + 2 \times \frac{5}{21} + 3 \times \frac{4}{21} + 4 \times \frac{1}{7} + 5 \times \frac{2}{21} + 6 \times \frac{1}{21}$$

$$= \frac{6 + 10 + 12 + 12 + 10 + 6}{21} = \frac{56}{21} = \boxed{\frac{8}{3}}$$

宿題 6-5

- (1) あらかじめ 4 個の $\times$ を並べておいて、後から 8 個の $\bigcirc$ を加えて記号列を作ることにする。「 $\times$ が隣り合わない」という条件を満たすように $\bigcirc$ を加えるには、下図の空欄 (B), (C), (D) にそれぞれ 1 個以上の $\bigcirc$ を加えればよい。



そこで、(A), (B), (C), (D), (E) に加える $\bigcirc$ の個数をそれぞれ $a, 1+b, 1+c, 1+d, e$ 個とすれば、求める並べ方の総数は

$$a + (1+b) + (1+c) + (1+d) + e = 8$$

$$\therefore a + b + c + d + e = 5$$

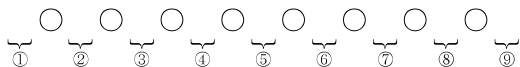
を満たす 0 以上の整数 (a, b, c, d, e) の総数である。これは前回の宿題 5-5 と同様にして、5 個の $\bigcirc$ と 4 個の $+$ を並べてできる記号列の総数として数えられるので、

$${}_9C_4 = \frac{9 \times 8 \times 7 \times 6}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = \boxed{126}$$

※ より直接的に、次のようにして数えることもできる。

[別解]

8 個の $\bigcirc$ を並べておいて、その両端または隙間（下図の 9 か所）から 4 か所を選んで $\times$ を挿入することで、 $\times$ 同士が隣り合わない並べ方を得る。



よって、条件を満たす並べ方は、 $\times$ を挿入する 4 か所の選び方の数だけあるので、その総数は

$${}_9C_4 = \frac{9 \times 8 \times 7 \times 6}{4 \times 3 \times 2 \times 1} = \boxed{126}$$

- (2) 条件を満たすような四角形の 4 つの頂点は、正十二角形の、どの 2 つも隣り合わないような 4 頂点に他ならない。したがって、正十二角形の頂点に、順に 1, 2, 3, ..., 12 と番号を振ると、条件を満たすような四角形の頂点の選び方に対応するのは、「1, 2, 3, ..., 12 から、どの 2 つも連続せず、かつ、1 と 12 を同時に選ばないような 4 数を選ぶ選び方」である。

(1) より、1, 2, 3, ..., 12 からどの 2 つも連続しないような 4 数を選ぶ方法は、全部で 126 通りある。

このうち、1 と 12 を同時に選んでいるものは、残り 2 数が「3, 4, 5, ..., 10 のうちの連続しない 2 数」となっているものである。その総数は、「6 個の $\bigcirc$ と 2 個の $\times$ を、 $\times$ 同士が隣り合わないよう並べる方法」の総数であるので、(1) と同様にして数えることができ、

$${}_7C_2 = \frac{7 \times 6}{2 \times 1} = 21$$

である。よって、求める四角形の総数は

$$126 - 21 = \boxed{105}$$

宿題 6-6

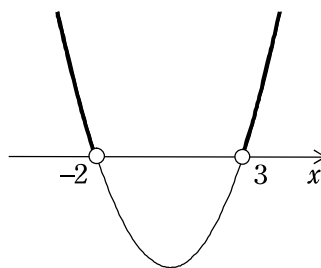
- (1) $f(x) = x^2 - x - 6$ とおく。

不等式 $f(x) > 0$ の解は、 $y = f(x)$ のグラフのうち、 y 座標が正となる部分の、 x 座標の取りうる範囲である。

$y = f(x)$ のグラフは、下に凸な放物線で、

$$f(x) = (x+2)(x-3)$$

より、 x 切片は -2, 3 なので、概形は下図の通り。



よって、解は $x < -2$ または $3 < x$

(2) $f(x) = 2x^2 - 4x + 1$ とおく.

不等式 $f(x) < 0$ の解は, $y = f(x)$ のグラフのうち, y 座標が負となる部分の, x 座標が取りうる範囲である.

$y = f(x)$ のグラフは, 下に凸な放物線で,

$$\begin{aligned} f(x) &= 2x^2 - 4x + 1 \\ &= 2\left(x^2 - 2x + \frac{1}{2}\right) \\ &= 2\left(x^2 - 2x + 1 - 1 + \frac{1}{2}\right) \\ &= 2\left\{(x-1)^2 - \frac{1}{2}\right\} \end{aligned}$$

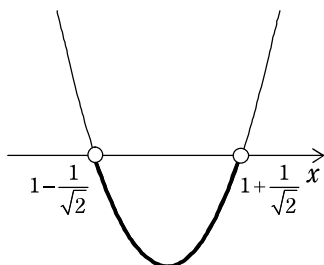
より, x 切片は

$$(x-1)^2 = \frac{1}{2}$$

$$x-1 = \frac{1}{\sqrt{2}}, -\frac{1}{\sqrt{2}}$$

$$\therefore x = 1 + \frac{1}{\sqrt{2}}, 1 - \frac{1}{\sqrt{2}}$$

なので, 概形は下図の通り.



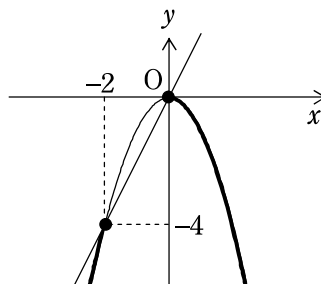
よって, 解は $\boxed{1 - \frac{1}{\sqrt{2}} < x < 1 + \frac{1}{\sqrt{2}}}$

(3) $-x^2 \leq 2x$

[解法 I]

不等式の解は, $y = -x^2$ のグラフのうち, $y = 2x$ のグラフの下側 (直線上を含む) にある部分の x 座標が取りうる範囲である.

$y = -x^2$ と $y = 2x$ のグラフを描くと, 下図のようになる (略).



よって, 解は $\boxed{x \leq -2 \text{ または } 0 \leq x}$

[解法 II]

不等式は

$$0 \leq x^2 + 2x$$

と書き換えられるので,

$$f(x) = x^2 + 2x$$

とおくと, この不等式の解は

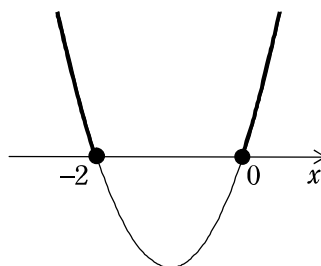
$$y = f(x)$$

のグラフのうち, y 座標が 0 以上となる部分の, x 座標が取りうる範囲である.

$y = f(x)$ のグラフは, 下に凸な放物線で,

$$f(x) = x(x+2)$$

より, x 切片は 0, -2 なので, 概形は下図の通り.



よって, 解は $\boxed{x \leq -2 \text{ または } 0 \leq x}$